

所長	事業責任者	主任	副主任

会議（打ち合わせ）議事録

ひょうご障害者地域生活支援センター

名称	第6回 防災を考える部会
日時	2018年2月27日（火） 16:00 ~ 17:30
場所	中部在宅障害者福祉センター 3階 会議室
<p>【出席者】 肢体障害者福祉協会（1）、聴力言語障害者福祉協会（2）、手話通訳グループ「葦の会」（2）、いかり共同作業所（2）、神戸ろうあハウスデイサービスセンター（2）、兵庫区社会福祉協議会（1）、兵庫区役所健康福祉課（3）、ひょうご障害者地域生活支援センター（3）、手話通訳者2名</p> <p>【欠席】 視力障害者福祉協会、兵庫区民生・児童委員協議会、兵庫むつみ会、シエスタ兵庫、Bridge+</p> <p style="text-align: right;">計 16名（手話通訳者2名は除く）</p>	
<p>1、講義「神戸市における災害時要援護者への取り組みについて」 神戸市障害者支援課より、担当者を講師として招いて実施。</p> <p>下記には要点及び質疑応答について記す。</p> <p>○要援護者の定義 負傷した方も入るので、誰もが要援護者になり得る可能性がある。</p> <p>○要援護者情報の収集方法について 郵送して要援護者登録について同意の確認を行うが、返事がない方もいる。条例上は、返信のない人は、見なし同意として扱う。返信ができない人は支援が必要な可能性が高いと推測されるため。見なし同意の方について、同意された方と同様には扱っていない。地域の支援者が必要と意思表示すれば情報を提供する。 40%の方について、返信がない。返信がない方に2、3回再度郵送を行うが、それでも返事はない。返信のあった60%のうち35%が要援護者登録の同意をしている。残りの方は不同意。理由を聞くと、9割の方が「元気である」、「近隣に身内がいる」などの理由。残りの10%のうち、「障害があつて迷惑をかけるのがいや」、「障害を周りに知られたくない」などの理由。返信のあった中で障害者は5%程度。</p> <p>○要援護者登録の案内を送付する対象 要介護3以上、身体手帳1、2級、療育手帳A、65歳以上の単身世帯、75歳の方のみの世帯。神戸市で17万5千人。兵庫区では1万6千600人。しかし、1万2千人は上記の要件の方ではない。半年に1回、更新のお知らせを郵送。 課題として、更新時（2回目）に登録をしない方がおられる。理由は前に登録したという内容。</p> <p>○備蓄物資について 平成27年から保健福祉局で予算を組み、要援護者用備蓄物資をそろえてきている。</p> <p>○福祉避難所のバリアフリー化について 予算をつけて、トイレの改修などは進めているがエレベーターなど大規模なものはすすんでいない。</p> <p>○要援護者登録者名簿の作成について、手上げ方式は変わっていないか？ 変わっていない。障害者の方が自分で登録して、要援護者の手上げ方式を行っている地区もあり、条例の枠組みでは手上げ方式。地域がやる気がなければ、忘れてしまう。市から働きかけを行って</p>	

いる。

○マンションの管理組合での登録は進んでいるか？

市内で400くらいの登録あり。17組合から出前トークを依頼された。地域ですでに取り組みが実施されているところもある。昨年、3団体登録があった。現在、2組合が検討中。

○聴覚障害に対する支援の配慮を進めてほしい。要援護者登録案内を身体1、2級に限定しているが、3級でも聞こえない人がいる。

地域の中で避難できない人を優先的にしている、避難行動の支援。

避難所での支援については対応していかないといけないと思っている。

乳幼児、妊産婦、身体6級まで全部のリストをもらえないかという地域もある。

○現状を知った上で、今後何ができるか？

防災福祉コミュニティ、自治会が主体だと障害者への理解がない。民生委員も高齢者には強いが、障害者の理解は難しい。要援護者支援をきっかけに障害者の方に呼びかけを行う。ワークショップをして、障害者のことについては難しいから後にしようという地域が多い。重度障害者を先にしよう、重症心身障害者を先にしよう、その後、順にという地域もある。

地域の団体に応じて、障害者がイベント等に出ていて関わりがある場合はスムーズであるが、そうでないと進まない。

神戸市としては、部会員にゲストスピーカーとして出演してもらいたい。

○支援策について

助成制度がある。個別支援計画を作ると、1地区50万円までの予算。実績払い。

コンサルタント派遣、印刷費は市で負担。

1地区50万円、訓練までやって、炊き出しの費用も捻出が可能。

2、平成29年度安全安心フェアについて

日時：3/11（日） 場所：祇園小学校 3/2に最終打ち合わせ

当日は、9:45までに祇園小学校へ集合。

3、その他

○次年度のふれあいワークショップの地域選定について

ひよどり地区、菊水地区くらいか適当か。菊水は名簿を更新するタイミングのため、次年度以降が良いか。ひよどりは名簿更新なし。時期は夏場を避ける。

○ヘルプカードについて

神戸市がヘルプカードを作成。4月1日の広報誌に掲載予定。申請は区の窓口。

現在ヘルプカードは県、市、区の3種類が混在している。競合する物ではない。個人で選んでいい。

当事者としては、知的障害、精神障害の方は混乱するのではないかと思う。また、3つあるのがどういう経緯が分からないから困る。

以上

業務
連絡

次回部会開催日程

日時：平成30年3月27日（火）16:00～

場所：中部在宅障害者福祉センター